

防除作業従事者研修カリキュラム例

＜カリキュラムの考え方＞

- 1.7時間以上を確保する。
- 2.科目ごとの講義時間は、研修内容により適切な時間を設定する。
- 3.2年目以降のカリキュラムは、研修内容から取捨選択し、設定する。

1年目カリキュラム

研修科目	研修内容	時間
機械器具の種類と使用方法	調査用器具/安全器具/防除用機器	60分
薬剤(殺鼠剤・殺虫剤)の種類と使用方法	殺鼠剤とは/殺鼠剤に必要な条件/殺鼠剤の長所と欠点/殺鼠剤の成分/殺鼠剤の剤型/殺鼠剤の抵抗性/忌避剤/殺鼠剤の安全使用/事後処理/殺虫剤の意義と役割/法律上の位置付け/殺虫剤の名称/殺虫剤の毒性/殺虫剤の有効成分/殺虫剤の効力/殺虫剤の剤型/処理方法/殺虫剤使用上の注意/殺虫剤の効果が上がらない理由/殺虫剤の廃棄方法	120分
安全及び衛生	安全に対する心構え/薬剤事故防止/火災事故発生防止/作業事故発生防止/汚損・破損防止/交通事故防止	60分
建築物の環境衛生行政	建築物衛生法のあらまし/ねずみ昆虫等関係法規	60分
作業従事者の責任と任務	防除作業監督者と防除作業従事者/防除作業従事者の責任と実務/サービスマンとしての心得/日常的な業務実施の心得	60分
建築物構造や設備とネズミ・昆虫等	建築物と有害生物/建築物内部で生息する有害生物/建物外部からくる有害生物	60分

2年目以降カリキュラム

研修科目	研修内容	時間
機械器具の種類と使用方法	調査用器具/安全器具/防除用機器	60分
薬剤(殺鼠剤・殺虫剤)の種類と使用方法	殺鼠剤とは/殺鼠剤に必要な条件/殺鼠剤の長所と欠点/殺鼠剤の成分/殺鼠剤の剤型/殺鼠剤の抵抗性/忌避剤/殺鼠剤の安全使用/事後処理/殺虫剤の意義と役割/法律上の位置付け/殺虫剤の名称/殺虫剤の毒性/殺虫剤の有効成分/殺虫剤の効力/殺虫剤の剤型/処理方法/殺虫剤使用上の注意/殺虫剤の効果が上がらない理由/殺虫剤の廃棄方法	120分
安全及び衛生	安全に対する心構え/薬剤事故防止/火災事故発生防止/作業事故発生防止/汚損・破損防止/交通事故防止	60分

上記科目は必修、他は以下のカリキュラムから選択する。

建築物の環境衛生行政	建築物衛生法のあらまし/ねずみ昆虫等関係法規	60分
作業従事者の責任と任務	防除作業監督者と防除作業従事者/防除作業従事者の責任と実務/サービスマンとしての心得/日常的な業務実施の心得	60分
建築物構造や設備とネズミ・昆虫等	建築物と有害生物/建築物内部で生息する有害生物/建物外部からくる有害生物	60分
ネズミ害虫防除概論	ネズミ害虫防除の必要性/防除とはどのようなことをいうのでしょうか/IPM/PC0の役割/ネズミ害虫防除の方法/ネズミ害虫防除の進め方	60分
害虫ごとの生態と防除	ネズミ、ゴキブリ、蚊・ハエ・コバエ、ダニ、その他の害虫(食品、木材、畳・敷物から発生する害虫ほか)の種類と生態/各害虫の対策の進め方/各害虫の維持管理水準	120分